

T T C 提案山行実施記録

2012年2月15日報告者：佐藤 清

山行名	奥秩父 西沢溪谷 (氷瀑鑑賞) [1,301m 山梨県]						
実施日	2012年2月11日 (土)		日帰り	マイクロバス利用			
天候/参加人員	天候：晴れ		レベル：★☆☆	参加人員：16名 (男9名/女7人)			
パーティスタッフ	CL/計画：、SL：、会計：、救護：、写真：				氏名削除		
参加メンバー	A班 ☆		B班 ☆		氏名削除		
	C班 ☆		計16名				
費用	<p>(内訳)</p> <p>一人当たり 5,100円</p> <p>収入@¥5,100×16名=¥81,600</p> <p>支出 マイクロバスレンタル (スタッフレスタイヤ仕様) 料 ¥46,000、ドライバ`謝礼¥18,000、燃料代 {¥120 /1L × (130km×往復+50 km) /5} = ¥7,440、高速料金 (相模湖 IC⇔勝沼 IC) ¥800+¥800=¥1,600、入浴料@¥400×14名=¥5,600、入浴料返金2名¥800、Uさんへ謝礼¥400 (ｼﾞﾔﾑ)、支出合計¥79,840 収支：¥81,600-¥79,840=¥1,760 (カンパ金¥1,760)</p>						
歩行・行動時間		歩行時間	休憩時間	行動時間			
	ガイドブック	3:40	—	—			
	計画	4:00	1:35	5:35			
	実行	4:45	1:26	6:11			
実行コースタイム記録							
	0:13	0:06	0:12	0:32	0:09	0:25	
イトーヨーカドー	及川中原		鳶尾	半原	相模湖IC	談合坂SA	勝沼IC
6:15	6:28	6:34	6:46	7:18	7:27~41	8:06	
0:42	0:02	0:21	アゼン装着	0:12	0:29	0:38	0:12 (昼食)
道の駅みとみ	東沢山荘	ネトリ広場	西沢山荘	三重の滝	母胎内淵	カエル岩	
8:48~58	9:00~16	9:37~47	9:59	10:28~38	11:16	11:28~12:03	
0:05	0:28	0:38	1:02	0:40	0:27		
七ツ釜五段の滝	西沢溪谷終点	大展望台	ネトリ広場	東沢山荘	花かげの湯		
12:08~20	12:48~13:01	13:39~47	14:49~57	15:27~16:01	16:28~17:51		
0:24	0:25	0:10	0:34	0:12	0:05	0:11	
勝沼IC	談合坂SA	相模湖IC	半原	鳶尾	及川中原	アツレン駐車場	
18:15	18:40~54	19:04	19:38	19:50	19:55	20:06	
コースの概要、特記事項、反省事項等							
<p>TTCの山行で冬の西沢溪谷(氷瀑鑑賞)は3回目である。自然が織りなす氷の芸術を何回見ても飽きることはない。天気は晴天で予定どおり6時15分にイトーヨーカドー前を出発して及川中原、鳶尾、半原と参加メンバーをピックアップして、談合坂SA、道の駅みとみで休憩を取り東沢山荘駐車場に9時に着いた。体操をして9時16分に出発したがアスファルトの道は所々凍っていて慎重に歩かなければならない。東屋とトイレのあるネトリ広場に着き、これから行く方を見ると雪で地面が見えないので、ここでアイゼンを履くことにした。もちろん、冬季はトイレが使えないので、道の駅みとみで済ましてくる必要がある。</p> <p>ネトリ広場から少し歩くと西沢山荘を右に見て吊橋を渡ると登山道になる。西沢山荘から30分ほど歩くと三重の滝を正面から見る事ができる滝見台に着いた。ここは一つの見どころで、滝の所々が氷のレースをまとめてエメラルドグリーンの滝壺と相まって魅力的だ。デジカメを持ってきているメンバーはバチバチとシャッターを押していた。三重の滝を出発したが道は凍っていてアイゼンを履いていても慎重に歩く。大きな氷柱も随所で見る事ができ、前回の西沢溪谷山行(2006年1月)よりも雪が多く氷も厚いと思った。滝の上部が凍った竜神の滝、これが滝ですかと思うような恋糸の滝を過ぎ、対岸にある母胎内淵を見ると氷の塊が数個淵の中を回っているのが印象的であった。</p> <p>カエル岩で時計を見たら11時28分であったが、一面雪だったので昼食を先に行ってからと思っていると、『上(西沢溪谷終点)まで行かないと食べられる場所がないよ。そこまでは、1時間半ぐらいかかるよ。』</p>							

の一言で昼食をここで取ることに決めた。

昼食を取り12時頃には歩き始め七ツ釜五段の滝には5分ほどで着いたが、七ツ釜五段の滝手前の橋には通行止めの看板とロープが張ってあった。ロープの隙間から中に入り橋を渡り今日の一番のハイライトの滝を正面から見た。じっくり見てしっかり写真を撮って出発をしたが、歩き始めの道が6~7mぐらい全面凍っていた。SKさんがピッケルを持ってきていたので、歩きやすいように氷を削ってくれた。皆さん慎重に歩き、上り坂を30分も歩くと西沢溪谷終点の看板があるところに出て右には休憩できる場所やトイレがある。もちろんトイレはこの時期使用できない。後はネトリ広場まで単調なトロッコ道を歩くことになる。

前回の山行の時も思ったが、ネトリ広場と七ツ釜5段の滝をピストンするよりも、周遊コースの方が安全だと思うが、なぜか橋で通行止めにして周遊コースを通行禁止にしている。トロッコ道の途中にある大展望台で小休止を取った。なるほど鶏冠山(とさか)、木賊山(とくさ)や破風山(はふ)が良く見える。大展望台から一時間ほど歩くとネトリ大橋を渡りネトリ広場に到着周遊コースの終点である。

ここで、『アイゼンを外したい方はアイゼンを外してください。』と伝えたが参加メンバー全員がアイゼンを外した。歩きだして直ぐにTSさん(女性)が氷った地面に足を取られ転んでしまった。氷の上にとっさについた右手の上にご自分の体重が懸かり、右手を痛めてしまったようで直ぐに立ち上がることができないほどに痛がった。MYさんがザックを引っ張り立たせたが、TSさんは『手首が痛い』と言っていた。とりあえず三角巾で右腕を吊る応急処置を施した後、MYさんがTSさんの怪我をしていな左腕を転ばないようにしっかり支えながら、凍った林道を慎重に歩き、東沢山荘に30分かけて到着した。山荘売店の椅子に座らせ、怪我の状態を確認したところ、どうやら右手手首を骨折しているようだ。相当痛むようなので、痛み止めのロキソニンを服用させ、患部にロキソニンテープを3枚張り、PETボトルを縦に半分に切ったものを添え木代わりに当て、その上から伸縮テープで患部を固定し、患部の下から氷で冷やし、三角巾で右腕を首から吊って、とりあえずの応急処置とした。東沢山荘内で、応急処置をしている間に、救急車を呼んで病院に行って貰うことになった。牧丘市街から駆けつけてくれた山梨市消防署の救急車は、お願いしてから約20分で、東沢山荘に到着した。

救急車にはUKさんが同行することになり、塩山市民病院で治療を受けることになった。ラッキーなことに、当直医が整形外科の専門医で、適切な応急処置を施して頂いた。右前腕手首部分の大小2本の骨(親指側の太い骨:橈骨(トコツ)と小指側の細い骨:尺骨(シッコツ))が折れているという。骨折部位のレントゲン写真をお借りしたうえ、紹介状を書いて戴き、帰宅後、地元厚木の病院で本格治療を受けるようご指示頂いた。Iドライブが市民病院までお二人を迎えに行き、応急治療が済んで、戻ってくる間、牧丘市街の日帰り温泉「花かげの湯」(割引券で400円/1名)で、残りの14名のメンバは時を過ごすこととなった。そこにUKさんから右手首の骨が2本折れていたと連絡があった。全員合流後、花かげの湯を17時51分に出発し、談合坂SAで休憩を取り、相模湖ICを降りて半原1名、鳶尾2名、及川中原1名下車し、本厚木駅近くのアツレン駐車場に20時6分に着いた。

みんなを下車させた後、Iドライブに怪我をしたTSさんを自宅まで送って頂いた。

スポーツ保険会社への事故報告は、厚木の整形外科において再度診察・治療を受けた結果をもって、CLが実施する手はずを確認した。